



寄居ロータリークラブ YORII ROTARY CLUB 会報

R.I.会長
フランチェスコ・アレッソ
第2570地区ガバナー
坂口 孝
第4グループガバナー補佐
橋本 和行



令和7年7月23日(水)
会場 寄居町商工会Spark

第2773回例会

司会 小宮 俊光(SAA)
点鐘 下条 誠会長(12:30)
ソング 君が代 奉仕の理想



お客様

国際ロータリー第2570地区 ガバナー坂口 孝さん
ガバナー補佐 橋本 和行さん
地区副幹事 菊池 俊介さん

1. 会長の時間

下条 誠さん

皆さん、こんにちは。早速ですが、今日は家庭菜園の話を少しします。今年から本格的に私は家庭菜園を始めました。本格的には言つても家の庭が狭いので、1m四方の枠を作り、そこに培養土を入れて苗木を植えたり、種をまいたりしたぐらいです。その他にプランターを15個ぐらい用意しまして、そこでいろいろ栽培等を始めました。なぜ家庭菜園を始めたのかといいますと、理由はいろいろありますが、一番の理由は、私はあまり体を動かさないので、体動を動かしてより健康になろうと思ったのがきっかけです。他に、私の住んでいる熊谷の玉井の自治会の役員の方のほとんどが近所の畑を借りて野菜作りをしていまして、その役員の方みんなが、本当にタフで健康なのです。役員の方の年齢は、みなさん65歳以上から75歳ぐらいの方ですが、その方々を見て、多少なりとも農作業をしている人の体力というのは、普通の人とはちょっと違うかなと感じたからです。まさに今の時期、夏になりますと、自治会の盆踊りの準備で毎週会議をして、その後軽く飲んで、次の日の朝、朝早く役員の方は畑で農作業をしています。盆踊りの一、二週間前から盆踊りのテントや櫓を設営始まります。設営をやっていても、正直若い方の私は熱中症になる手前で本当にヘロヘロになってしまいますが、この役員の方々は、つらそうな顔はしていますが体はしっかり動いています。この姿を見て、日ごろから農作業している人はすごいなと感じたからです。その役員の方が耕している畑とは、3m四方の畑で、よくある市民農園のような感じです。そういう



った畑のシェアのようなところを借りているようです。ただ1人の方は、畑を一反、1000平米を相続した関係で本格的にやっている方もいます。その方からよく野菜をもらう機会があり、無農薬で栽培しているということで、無農薬なんで安心して食べられるということと、朝どりのとりたて野菜なのでスーパーで買うよりは鮮度が良く、おいしく感じます。

私の家庭菜園で栽培しているものは、スナップエンドウ、絹さや、きゅうり、トマト、プチトマト、青しそ、サニーレタス、ズッキーニ、パセリ、三つ葉、春菊などです。三つ葉と春菊は産直で根っこ付きのものを買ってきて、それをプランターに植えておいたら、葉っぱが生えてきて、また取れるようになりました。スナップエンドウは、プランターに種を植えて育ててまして、最初は葉もいい勢いで育っていて調子がよかったです。急に葉の色が悪くなり始め、原因等を調べてみましたがよくわからなかったので、酢を希釀したものをスプレーすれば小虫などに効くかなと思い、やってみましたが全く効果がなく、改善されませんでした。どんどん葉等が食べられていくので、何が原因なのだろうと思い、よくスナップエンドウを見てみたら、1センチくらいの青虫がいることに気づきました。基本的に殺生はしないようにしているのですが、このときは青虫に殺意を覚えました。家の前が公園緑地帯になっているので、その緑地帯にその青虫を投げ捨てて対策等を取りました。結局青虫が3匹ぐらいいたので、何か薬剤等を使えばこういったこともないのだろうなと思いました。改めて自治会で無農薬栽培をしている人は本当にすごいなと感心し、家庭菜園の私がこれだけ苦労しているのに、1000倍以上の広さの畑を管理しているなんて想像もつきません。結局スナップエンドウはで、多少復活しいつか実はなってくれたのですが、悲しいぐらいの数しか最終的にはなりませんでした。その後、キュウリなどはそこそくうまく栽培できましたが、最初は非常に形のいいものが

なったのですが、4本目ぐらいから曲がってしまったり、黄色くなってしまったりしています。ズッキーニは、花はたくさんあるのですが、全く実がなりません。ズッキーニは雌花と雄花があるらしく、雌花が咲いたら、雄花の花粉をつけて受粉させると実ができるということなんですが、雌花が咲かないで未だに収穫なしという状態です。サニーレタスはどんどん育ちましたが、食べてみたら苦すぎて食べられませんでした。多分このサニーレタスは、ダイソーの種を買ったので品質が悪かったのかしれません。青じそは、冷汁が好きなのでたくさん取ろうと思い、プランター以外にも庭の隙間などにもたくさん蒔きましたがあまり育ちませんでした。小さいうちに虫に食べられてしまい、ほとんど成長していません。家庭菜園での冷汁はおあずけ状態となっています。トマトとプチトマトは、6月の下旬から本日に至るまで定期的に収穫できています、プチトマトはわき目が出てきたら、間引きして、それを土に挿しておくとまた根付いて実が育ってくれるので、どんどん増えてきています。最近発育がいいのがヘチマです。ヘチマもタワシにするヘチマとは違って食用のヘチマです。沖縄料理のチャンプルー料理にあるナーベラーチャンプルーの具になる品種を育てています。

私の家庭菜園の近況報告となっていましたが、自分の健康のためにと思って家庭菜園を始めましたが、野菜などの食べ物は簡単に作れるものではないということをあなた改めて学び、飽食の時代の時代で食べ物はあふれていますが、食べ物を大事にしていこうと改めて思いました。改めて自分の食料を毎日供給してくれている農家さんに感謝しようと思いました。特に自治会の方で無農薬栽培で野菜をくれる方は、みんなの健康のためになると思っての信念のもと、大変手間がかかる作業を行い野菜を作り、私たちに提供してもらえることに深く感謝することができました。

前回もお話しましたが、人間の体というのは食べたものでできていますので、よりよい食事に心がけ、会員の皆様がより健康になり、毎回万全の体調で例会に出席するようになれば嬉しい限りでありますとともに、クラブが活性化していくことにも繋がると思いますので、益々の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。会長の時間は以上です。本日もよろしくお願いいたします。

2. 幹事報告

荻野 真仁さん

それでは幹事報告をします。今日の幹事報告は、この後の流れについてまず説明をします。



本日例会が終わり、点鐘の後休憩することなく写真撮影をします。前方の机等を移動してここで撮りたいと思いますので、設営を皆様ご協力ください。その後時間ががあれば休憩を入れ、おむね1時40分から約1時間、協議会を行います。席とテーブルについては今と同じ状態でよ

ろしくお願ひします。3時までには全てを終了させる予定ですので、長時間にわたりますがご協力ををお願いし、本日の幹事報告とします。ありがとうございます。

3. 委員会報告

(1) 出席推進委員会

清水 浩一さん

例会日	総員	欠席	出席	MU	出席率
7月23日	34	8	26	0	76.47%
7月16日の修正出席率					85.29%

(2) ニコニコボックス委員会

吉田 昌弘さん

下条 誠さん 第2570地区ガバナー坂口孝様、ガバナ一補佐 橋本和行様、地区副幹事 菊池俊介様、ようこそ寄居RCへ。本日は寄居RCの雰囲気を楽しんで行ってください。

荻野 真仁さん 坂本ガバナー、橋本ガバナー補佐、菊池副幹事様、本日ご指導よろしくお願いします。

松本 幸男さん ガバナー坂口孝様、よいこそ寄居RCへ。本日はご指導のほど、よろしくお願いいたします。ガバナー補佐 橋本和行様、地区幹事 菊池俊介様、本日はありがとうございます。

荻野 幸一さん 坂口ガバナーさん、公式訪問有難うございます。御指導、宜しくお願いします。

吉野 泰久さん 先日の「朝顔まつり」ではクソ暑い中、津久井さん、押田さんご苦労様でした。LINEのおかげで「良い買い物」ができました。完売できましたか？

佐橋 正行さん 坂口ガバナーようこそ。本日はよろしくお願いします。

小宮 俊光さん 坂口ガバナー並びにご帶同の橋本さん、菊池さん、ようこそ寄居RCへ!!ガバナー、楽しくてためになるお話し、宜しくお願いします。

柴崎 猛さん 坂口ガバナー、橋本ガバナー補佐、菊池地区副幹事、本日はようこそ寄居RCへ。ご指導よろしくお願い致します。

柴崎 正さん 坂口孝ガバナーようこそ。寄居も暑いです。寄居クラブも下条会長も熱いです。本日はよろしくお願い致します。

清水 浩一さん ガバナー坂口様、補佐 橋本様、地区副幹事 菊池様、ようこそ寄居RCへ。ご指導よろしくお願い致します。

清水 浩一さん 7/19~20富士山登頂してきました。全員無事！…大変だったけどいつてよかったです！

加藤 祐司さん 第2570地区ガバナー 坂口孝様、ガバナー補佐 橋本和行様、地区幹事 菊池俊介様、ようこそ寄居RCへ。本日はご指導よろしくお願ひいたします。

安齋治一郎さん ようこそ坂口ガバナー、橋本ガバナー補佐、菊池地区副幹事。楽しみにしていました。ご指導宜しくお願ひします。

津久井大雄さん 2570地区ガバナー、本日は御指導お願ひします。

赤坂 匠康さん 坂口ガバナー様、本日は御指導よろしくお願ひ致します。橋本ガバナー補佐様、菊池地区副幹事様、灼熱の寄居RCへようこそ！本日はよろしくお願ひ致します。

松本 則之さん 坂口孝ガバナー、本日はよろしくお願ひいたします。

吉田 正博さん 毎日暑い日が続いております。水分しっかりととりましょう。本日は坂口ガバナー、橋本ガバナー補佐、菊池地区副幹事の皆様、よろしくお願ひ致します。

小鰂 哲夫さん ガバナー坂口様、ガバナー補佐 橋本様、副幹事 菊池様、ようこそ寄居RCへ。本日はよろしくお願ひします。

権田 功さん 坂口ガバナー様、本日はありがとうございます。よろしくお願ひ致します。

高倉 隆綱さん 坂口ガバナー、橋本ガバナー補佐、菊池地区副幹事、ようこそ寄居RCへ。本日はよろしくお願ひいたします。

豊田 康業さん 坂口ガバナー、橋本ガバナー補佐、菊池地区副幹事様、ようこそお越しくださいました。本日はよろしくお願ひします。

押田 大助さん、坂口ガバナー、本日はロータリーについて勉強させていただきます。

清水雄一郎さん 坂口ガバナー、橋本ガバナー補佐、懇談会で色々なお話しが聞けて勉強になり、有難うございました。

福島 徹さん 坂口孝ガバナー、橋本ガバナー補佐、訪問いただきありがとうございます。

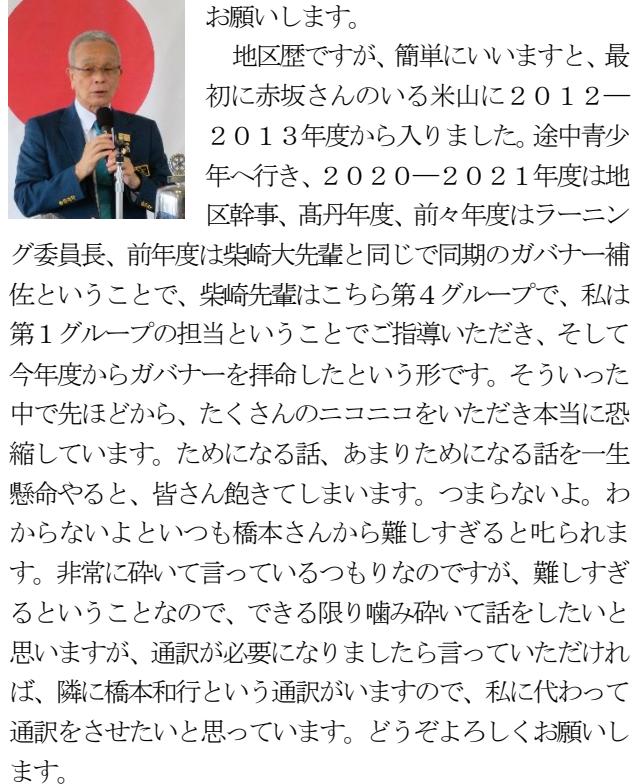
石井 彩子さん 本日は懇談会に参加させていただき、ありがとうございました。

吉田 昌弘さん 坂口孝ガバナー、橋本ガバナー補佐、菊池地区副幹事、ようこそ寄居RCへ。本日はご指導のほど、どうぞよろしくお願ひ致します。

卓話 国際ロータリー第2570地区

ガバナー 坂口 孝さん

皆さん、こんにちは。ただいまご紹介いただきました川越ロータリークラブの坂口と申します。どうぞよろしくお願ひします。



地区歴ですが、簡単にいいますと、最初に赤坂さんのいる米山に2012—2013年度から入りました。途中青少年へ行き、2020—2021年度は地区幹事、高丹年度、前々年度はラーニング委員長、前年度は柴崎大先輩と同じで同期のガバナー補佐ということで、柴崎先輩はこちら第4グループで、私は第1グループの担当ということでご指導いただき、そして今年度からガバナーを拝命したという形です。そういう中で先ほどから、たくさんのニコニコをいただき本当に恐縮しています。ためになる話、あまりためになる話を一生懸命やると、皆さん飽きてしまいます。つまらないよ。わからないよといつも橋本さんから難しすぎると叱られます。非常に碎いて言っているつもりなのですが、難しすぎるということなので、できる限り噛み碎いて話をしたいと思いますが、通訳が必要になりましたら言っていただければ、隣に橋本和行という通訳がいますので、私に代わって通訳をさせたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。

まず、皆様にお詫びしなくてはいけません。6月に起きたマリオ会長の辞任という前代未聞の事態です。皆様にはいろいろな情報が入っているとは思いますが、いろいろな情報はさておき、皆さんにはぜひ公式見解、個人的な事情、そして事業上の事情とご理解いただき、ご容赦ください。急だったものですから、皆さん、おそらく年度事業計画書を作成中だったと思います。早く作りたいのにクラブの事務局さんにも大変な思いをさせてしまったと思います。国際ロータリーも前代未聞で、いろいろな方に聞いたのですが、今まで聞いたことのあるのは、こんな間際ではないけれど、エレクトロが亡くなったという事は1度あったそうです。このような形での辞任というのは初めてということで、皆様には大変ご迷惑かけたということを、まずは国際ロータリーに代わりお詫び申し上げます。本当に申し訳ありませんでした。トップが変わって、私もどうなるのかなと思っていました。せっかく用意し、皆さんにも用意してもらった、メッセージ旗。川越ロータリークラブはもうとっくに買っていたのです。私も“Unite for Good”的バッチを買っていました。その後にマリオ会長辞任ということで、それをどうするんだと思いましたが、メッセージの方はこのまま継続するということで、よかったです。では中身どうなのかということですが、私が書いたメッセージもありますが、全く変わってしまうと私の立場としては、R I の会長が言いたいことをほとんど無視して私の言いたいことを言うことができませんので、これは困ったと思っていたのですが、言っていることはほとんど同じだつ

たので何とかセーフという状態です。本当に助かりました。

新しい会長はフランチェスコ・アレツォという方です。イタリアのシチリアの方出身の方です。シチリア出身というと、ちょっとやばい人間かと思うのですがそうではないです。ナイトの称号を持っているという事で、かなり素晴らしい方です。残念ながら国際協議会で私がお会いしたのはマリオ会長で、アレツォ会長には会っていません。国際大会でも日にちがずれてしまい私はアレツォ会長には会えなかったのですが、これから会う機会がありましたら、翻訳機を使いながらお話をしてもよろしく思っています。

ではその内容ですが、最近の国際ロータリーでは、細かく、こういうことを皆さんにお願いしますとは言っています。その中で一つの共通項だけ言わせてもらうと、マリオ前会長は要約すると「革新」「継続性」「パートナーシップ」この三つを大事にしていました。アレツォ会長はというと、「友情」「信頼」「パートナーシップ」です。一つは共通項ですが、二つが違います。ただ言っていることはほとんど変わりません。「ロータリーを成長させる」ということです。ロータリーを成長させるということは、会員増強、強いクラブを作ってくださいということ。そしてロータリーの基本を知らないと、ロータリーの枠から逸脱する恐れがあるよ。ということを暗に言っています。要は柔軟で新しいアイディアを受け入れてくれということです。噛み砕いて読むと、皆さんの頭の中に入れておいて欲しいのは、「会員増強」と「クラブ活性化」です。要は、強いクラブを作ってほしいということだと思います。意外と誤解されますが、会員増強というと、会員を入れること。もう一つは、R Iは絶対人頭分担金だけ欲しいんだよ、と思ってしまいがちです。私が思っているのは、現在川越クラブには103名の会員がいます。今年度の会長に「もう入れるのをやめろ」と言っています。というのは、川越には4クラブあります。どうしても川越が増えていきます。そして川越が増強すればするほど、残りの3クラブの会員数が減っていくのです。新しい方は川越に入りたいと大体そういう話になるので、私はうちの会長には積極的に会員増強するのはやめた方がいい。周りのことを考えると、川越が10人増えても周りが20人辞めれば結局マイナスなんだよ。そういうことも考えなよ。という話をしています。それでは何をやるかというと、今は若い会員が入ってきていますが、どこのクラブも老壯青がなかなか結びつきません。というのは、「ロータリーって何」と言ったときの時代が若い世代とご長者の間で違っています。今いる若い会員たちは、ご長者の会員が言っていることには「何でそんなこと言うの」と思ってしまいます。ご長老の方が育ってきたのは、「ロータリーは親睦と奉仕なんだよ。」というところが多かったと思います。しかし今の若い会員が入ってくるのを見ると、どちらかというと奉仕活動に積極的で、「ロータリーは奉仕団体だ。ボランティア団体だ。」という方が非常に増えていて、そこでもうギャップが出てしまっています。

川越ロータリークラブでも、ご長老がいます。こうみえても私より年上の方がかなりいますから、そういう方から言わせると「ロータリーはボランティア団体じゃないぞ。ふざけたことを言うな」というご長老もいます。ただそれを今日も副幹事で来ています、菊地にそんなことを言っても、「いや今は違いますよね。今更何言っているんですか。」となってしまいます。ですから、そのところはご長老の方にも、「今のロータリー」を学んでもらいたい。若い会員には「昔のロータリー」を学んでもらいたい。どこかで必ず接点があります。そこで結びついてもらわないと、必ずそこで分断ができます。これは如実に数字で表されています。今、かなり人数を減らしているのがアメリカです。本拠地アメリカがかなり人数を減らしています。辞めてくれNo. 1というのが、お年寄りの会員です。「今のロータリーについていけない。」と言います。川越でも数年前に一旦そういう時期がありました。前に相原というパストガバナーがいました。そのときに、執行部は当然動きのいい若い会員が主体になってやらなければいけないので、年配の会員が端になりました。その時に私が呼ばれ「俺はどうでもいいのか。いらぬなら辞めてもいいぞ。」とはつきり言われました。「そういう意味ではないですよ。ガバナーも長老のことを考えて、逆に気を遣いすぎてお願いしなかったんだと思います。」という話をし、今は、組織の中ではどちらかというとアドバイザーという形で、本来の委員会の形とか、地区大会の意義という若い会員にはわからないところがあるので、これをご長老の方にぜひ教えてくださいという話をしています。若い会員たちにもそれは真摯に受け入れてもらわないと、なかなかクラブが一つになって前へ進みません。そういう手法を取っていくというのは、強いクラブということになるのかなと思います。

会員増強が必要ではあります。ただ、あまり会員増強に走るということも、そのクラブの事情によって違いますので、下条会長にはぜひ1回クラブ協議会みたいなものを開いてもらい、もちろん戦略計画があれば戦略計画でもいいですが、クラブの適正人数って何人だろうと協議してください。例えば、第1グループに志木ロータリークラブがあります。そのRCでは、うちは4、50人がベストだとはつきり言っています。今現在50名です。あとは何をしているかというと、クラブの中を強くしています。どうやって繋がっていくのか、どういう事業をやってくるのか。戦略計画を年度事業計画書で拝見させていただきましたが、ガバナーをいつ出すかまでも、戦略計画の中に入っています。ですから、例えば寄居もうちもやっぱり50名だよなということであれば、50名を目標にして頑張ってもらえばいいので、それ以上を無理に入れる必要はないが、入れなくもない。ただ、退会者を減らしていった方が、私は、自然に会員数が増えていくと思います。そうでないとやはりいつになんでも10名入っても15名辞めてくとなればマイナス5名ですので、ぜひ強いクラブを作ってほしいと思います。

数年前のデータで言いますと、国際ロータリーには世界全体で15万人の入会がありました。その年度やめたのが、16万人です。当然のことながら、自然減、お亡くなりになられたという方もいると思いますが、それにしても16万人が自然減ということは考えられません。ということは何らかの形で退会をされたのだろうと思います。もしも16万人辞めている内の6万人が、自然減だったとしても、逆を言えば10万人はもし退会者がいなければ、10万人は増えているのです。ただ、そこを手を打たないからどのクラブもどんどんどんどん減っていきます。悪循環です。そして、クラブは年寄りだけでも駄目です。若い会員だけでも駄目です。老荘青というのは絶対に必要になります。今うちのクラブに必要な年代はどこなのか。また、ご長老の方にどこまでのご指導をいただくのか、ということをぜひ考えてほしいと思います。

では強いクラブとはどのようなクラブでしょうか。これはあくまでも国際ロータリーが発表しているものではありません。私が勝手に考えたものですから、それは違うということがあれば、聞き流し、そうだなと思ったなら、それに向かって何かやっていただくと助かります。

新のクラブ、強いクラブのまず一番目。「素晴らしい人材を多く育てることができるクラブ」

二つ目、「会員の年齢バランス、入会年数のバランスが整っているクラブ」会員の年齢層というのは若い会員ばかりでも成り立たませんし、年寄りだけでもなりたちません。私なども、もう細かい作業とか、何か奉仕活動的なことを一日中やるというのはキツくなっていますので、そのところは若い会員に頑張ってもらうとか、我々はどうやらかというと口だけ番長的に、こういうものだと指揮する形がいいのかなと思っています。入会年齢のバランスが揃っていると大体同年齢で固まることもできますから、そういう意味でもいいと思います。

そして三番目。意外と大事なところです。でもおそらくどこのクラブも大体できていると思います。「明るく、活気に満ちた雰囲気のあるクラブ」明るいだけのクラブは案外あります。これは私から言わせると親睦活動なのですが、「飲みに行こうぜ」とかそういうのが盛んなところは、明るいというのはわかりますが、活気に満ちているかどうかというのは、いまいち疑問だと思います。

続いて四番目。「地域社会から尊敬されるクラブ」やはり地域社会から、「さすが寄居ロータリークラブだよね。」と尊敬されてないと、ロータリークラブが何かお願ひに行ったときに「もう勘弁してください。」となります。これはもう話になりません。ただ言うだけの、単なる仲良しクラブみたいなものになってしまいます。ロータリーの存在意義はやはり地域から尊敬されるクラブだと思います。

五番目。「会員にロータリー学習の場を常に提供できるクラブ」先ほど3年未満の会員の方との懇談で最後にお話したのですが、入会して1年は、ただただ会員の研修を行うという話をしました。そして、いろいろな委員会に振り

分けられ勉強します。これは川越だけかもしれません、川越はそのようにしています。ですから、今日3年未満の方もいますが、先ほども橋本さんと話ましたが、イロハがわからないと、RLIという言葉がもうわからない、あるいは会長経験者と一緒にRLIなどをやると怖気づいてしまう。もうそこだけで行くのも嫌になるという方がいますので、私はできればRLIは理事役員、あるいは5年以上の方に行っていただき、5年未満はどちらかというとラーニング委員会が主催するセミナーがありますから、そちらに行き、詰め込み式のセミナーを受けてもらう。そしてその後出てもらってもいいのかなと思います。やはり多くの場合ギャップがあります。例えば今日いた3年未満の方と我々が一緒にRLIに参加して、同じ質問をされて答えを求められたとき、先にガバナー経験者など難しく話す人が答えてしまうと、「え、俺無理。言いたくない。」という気持ちが先走ってしまいます。そうならないように、会員にRLIで何らかの形で学習の場を提供していただくのもありかなと思います。

そして最後になりますが、やはりどこのクラブにも伝統と歴史があります。伝統と歴史を引き継ぎながら、しかし案外あぐらをかいてしまう人もいます。常に新たなことに挑戦意欲のあるクラブ、何でもいいから新しいことをやれということではないのですが、先ほども言いましたが、今国際ロータリーは本当に大きく変わってきています。そういう意味でぜひ、他のクラブと同じぐらいのレベルまでは上げていく、それぐらいの気持ちがないといけないのかなと思います。川越ロータリークラブは、来年75周年を迎えます。おそらく埼玉県では一番古いクラブですから、私どもより古いクラブはありません。2020年の相原ガバナーが出るまでの間は、第4グループに非常にうるさい、怖いおじいちゃんがいました。ご存知の方いらっしゃいますか。今はクラブもなくなり退会をされましたら、浅田さんという方です。その方から「おまえのクラブはガラパゴスだな。いつかの、ずっと昔のガラパゴスのままいるのか。いまのロータリーは違うんだ、もう少し勉強しろ。」とよく言われたものです。いや本当に川越ロータリークラブ自体が、ガラパゴス化でした。昔のロータリーのままだったのです。地区にてて、いろいろなところで勉強することによって、若い会員、そしてご長老のご理解をいただきながら少しずつ変わってきました。おそらくこちらのクラブもそうなのかな。川越ロータリーが定款を取り入れて細則を作りました。それが基本になって全部のクラブに回りました。私が他のクラブの細則を見ていると、中身が少し違うだけで、形はほとんど川越と同じです。推奨ロータリークラブ細則とも全く違います。川越クラブに似ているのです。なぜなのか長老に聞いたことがあるのですが、その長老いわく「みんなうちのを真似していたんだよ。」と。その細則もガラッと変わりました。ですので、やはり伝統だ、歴史だと言ってそこにあぐらをかかないでもらいたい。常に前を向いて新しいものを入れる、というところにぜひ挑戦

してほしいと思います。この六つが、新のロータリークラブ、強いロータリークラブだと思います。



まだ少し時間がありますので雑談させてもらいます。クラブ行動計画のお話を聞いたことがありますか。「戦略的優先事項」といって、四つのインパクトを与えます。この四つ、これを計画するのは非常に難しいと思います。頭を悩ませると思います。「大きなインパクトを与える。」って何だろうと、大体の会長さんは頭を悩ますと思います。まず一つです。簡単に言いますと、数値で測れるもの。数値で測れて、インパクトがあった、なかつたと言えるものということです。これは何かというと、一番簡単なのは、会員増強。人数でわかります。また財団の寄付。金額でわかります。要するに国際ロータリーはこの二つをやってもらいたいということなのだと思います。

そして奉仕プロジェクト。公共イメージを良くなる。プロジェクトを良くする。奉仕プロジェクトをすることによって、地域社会への貢献度が非常に上がります。例えば元会長がいますが、商工会などとタッグを組んで一緒にイベントをすることで、その青年部とか、そういった方々がロータリーっていいねとわかってくれると、会員増強にも繋がります。だから奉仕プロジェクトやってねってそういう事だと思います。では、何をどうしたらいいんだということです。一番簡単な方法をお教えします。今日、年度事業計画書を持っていませんか。定款を出してください。大体どこのクラブも最後の方にあります。ロータリークラブ定款第3条、これでいくと2と書いてあるところです。定款の2、一番上、第3条、「クラブの目的」こちらご長老の方だと思いますが、おそらくこの第5条の目的、要はこれです。ロータリーの目的というのは嫌ってほど昔から言われてきたことです。知らない間にこのクラブの目的が入ってきました。なぜかはわかりませんが。このa b c d eをやると、大体先ほど言った戦略的優先事項、これがカバーできるという形です。

まずは「ロータリーの目的」の達成を目指すことです。この意味わかりますか。簡単なのは上からいくと、「クラブ奉仕」「職業奉仕」「社会奉仕」「国際奉仕」ということです。この4大奉仕がここに書かれている。単にそれだけのことですけれども、この目的を目指すことというのは、

今ロータリーは5大奉仕が組織規程に入ってるくなっていますから、我々が何か行動するときは、必ずこの中のどれかに当たるから、これをやってくれということです。例えばクラブ奉仕。皆さん誤解するのが、クラブ奉仕でクラブに奉仕するとはニコニコのお金を出すことでしょうか。これもそうかもしれません。クラブに奉仕するとは非常に難しいですが、クラブに貢献する、クラブのためになることをすると簡単に考えてみてください。そうするとクラブのためになるわけですから、いろいろな書類が事務局さんから届きます。中には書類の返信を出さない人もいます。常に間際にしか出さない人がいます。そうではなく、予定がわから次第できるだけ早く返信することで事務局さん助かりますよね。例会の出席を一生懸命しています。ニコニコも毎回しています。みんなで一緒に手助けしようというのが大体クラブ方針ですから、そういったことを考えてやってくださいねというのが、このaの項目です。

aもbも同じですが、bはこれに基づいた報酬プロジェクトを実施する。今国際ロータリーが言っている奉仕プロジェクトは、地域社会奉仕か人道的奉仕をしてくださいということ。要は地域社会奉仕です。DDFを使った事業でも結構です。人道的奉仕というのはグローバル補助金を使った方が楽だと思います。そういう意味では財団や、社会奉仕委員会にぜひ相談してください。

cの「会員増強を通じてロータリーの発展に寄与する事」これはもう当たり前の話ですね。ロータリー財団を支援する。寄付金をお願いしますとう、いわゆる国際ロータリーのわがままなお願いです。

そして最後に、e「クラブレベルを超えたリーダーを育成すること」と書いてありますが、クラブレベルを超えたリーダーは、先ほども言いました様に入ってきた人を研修するだけではなく、ラーニングでもいいので、役員の方や理事の方、そういった方がどんどん今のロータリーってこうなんだ。元々のロータリーのこの委員会はこういう仕事なんだ、と話してください。そういうときにはぜひご長老にお力を借りるべきだと私は思います。昔の方はかなりよくロータリーを知っています。そういう意味では、叱られるかもしれませんが昔の方はその辺りの事をすごく教育されています。是非実践して欲しいと思います。ですからこのa b c d eこれらをやると、これはいいですよ、これをやってくださいね、という国際ロータリーからのお願ひですから、これをやれということではない。ということがわかるのではないかでしょうか。これで覚えた方が会長さんは楽だと思います。「より大きなインパクトをもたらす」とか「会員基盤を・・・」など非常に難しいところですが、あくまでも定款に沿った形でやると、非常に簡単だらうと思います。ぜひよろしくお願ひします。

その他、「四つのテスト」とかいろいろありますが、こういうのを全部話していると、あと30分必要になるので今日はやめておきます。

このお話をだけさせてください。ご長老の方に言うと叱ら

れてしまうかもしれません、今海外に行くと、国旗やクラブ旗、鐘の置いてあるところの方が少ないです。ほとんどやりません。今日は第1例会ではないですが、国歌を歌います。ロータリーでなぜ国家を歌うのかということです。元々1920年に東京ロータリーが発足し、途中で戦争になりました。戦争なったときに、外国語禁止令が出たとともに、アメリカから来たようなものはやってはいけない。そのために外国語も使ってはいけない。野球だと、いい球、悪い球と言います。ストライクと言ってはいけません。ストライクはいい球、ボールは悪い球と言っていたらしいです。ご存知ですよね。私は聞いたことがあります。そういう時代ですから、当然ロータリーというのはアメリカから来たものだよな。ことによるとフリーメーソンか。といったような非常に警察から締め付けがありました。ですから当時は寄居ロータリークラブでしたら、例会日が水曜日ですから「水曜会」という名前に変えました。「水曜会」という名前に変えてロータリーをします。警察の取り調べが来たときに、毎回国歌を歌っています。私達は日本国に忠誠を誓っています。という意味合いの国歌なのです。それが未だに続いています。これはやめろとは言いませんが、そういった意味合いで続いています。ただ、国歌を歌うようになったきっかけを覚えていてください。ロータリーソングもまた別のお話がありますが、それは案外多くのところで歌っています。日本みたいにこんなにしっかり歌えません。これはロータリーソングでなくてもいいのです。ただ、せっかくだから始まる前に歌でも歌って、和やかに例会を始めようという歌です。たまたまそれがロータリーソングだったということです。川越ロータリークラブでも2人ぐらいの会長はロータリーソングではなく、ふるさとなどを

歌っていました。今風のものはないとは思いますが、節度を持った形で歌を歌えばいいと思います。

そろそろ時間ですのでこの辺で終わりにしますが、また何かロータリーのことご質問があるようであれば、ぜひクラブ協議会時に質問してください。ご清聴ありがとうございました。

会長 下条 誠さん

坂口ガバナー、ありがとうございました。ガバナー卓話の中で、標準定款の3条。「クラブの目的」については、私も幹事と会長になるときに、定款、細則は結構きっちり読んだつもりであったのですが、この3条に関しては簡単に読み流しただけでしたが、先ほどのガバナーのお話で、これが戦略的な計画に繋がるということでしたので、今後はこれをベースに寄居ロータリークラブでやれればと思いました。本当にありがとうございました。

坂口ガバナーにもう一度大きな拍手をよろしくお願いします。

点鐘 会長 下条 誠さん



国際RC第2570地区第4グループ 寄居ロータリークラブ
E-mail yorii-rc@carrot.ocn.ne.jp

2025. 7. 23

会 長 下条 誠

会報・雑誌委員長 加藤 祐司

N o. 3

幹 事 荻野 真仁

副委員長 森田 淳一

- ・例会日時 毎週（水）12:30～13:30
- ・例会場 Spark(寄居町商工会)
- ・住所 寄居町寄居1228
- ・TEL 048(581)2468
- ・FAX 048(581)3530